

熊本県高次脳機能障害検討委員会主催研修会のご案内

高次脳機能障害の当事者として、専門家としてのメッセージ

熊本県高次脳機能障害検討委員会では、これまで高次脳機能障害の理解を助け、長期的な支援のできる社会を目指してシンポジウムや研修会を行ってきました。

「見えない障害」である高次脳機能障害の多様な症状は、当事者からの声によって初めて気づかされる面がありますが、失語症などのために十分には語られないのが実状です。

今回、高次脳機能障害を第一線で研究している最中に、脳梗塞により高次脳機能障害を経験された関啓子先生をお迎えして研修会を行うことになりました。関先生は、言語聴覚士でもあり専門家の視点から自らの経験をまとめた『話せない』、と言えるまで』を出版されています。当事者として、専門家としての視点で語られる先生からのメッセージには、気づかされるものが多いと思います。

関係機関の皆様をはじめ多くの方のご参加を賜りますようご案内いたします。

日時 平成26年2月23日(日) 午後2時～4時30分

場所 熊本大学医学部附属病院医学教育図書棟「3階第1講義室」
熊本市中心区本荘1丁目1番1号 TEL096-373-5784

参加料 無料

定員 200名(先着順)

研修会 講演：

『脳卒中後遺症としての高次脳機能障害

～当事者となった専門家からのメッセージ』

三鷹高次脳機能障害研究所所長／神戸大学大学院保健学研究科客員教授 関 啓子 先生

主催：熊本県高次脳機能障害検討委員会
第7回熊本大学高次脳機能セミナー

●熊本県高次脳機能障害検討委員会〔構成メンバー（23名）〕

委員長	池田 学	委員	稲富雄一郎、尾関 誠、北里 堅二、木村伊津子
副委員長	古閑 博明、林 邦雄		今野えり子、高田 明、竹田 和子、中西 亮二
事務局長	橋本 衛		西 徹、橋本洋一郎、長谷川 秀、平田 好文
監 事	小藺真知子		松永 寿、松本 孝明、森山 茂、山口喜久雄 山隈 維昭

熊本県高次脳機能障害検討委員会では、高次脳機能障害に関わる医療、福祉、行政や教育関係者など多職種が集まり平成16年から高次脳機能障害者に対する支援体制作りを行っています。

キ リ ト リ 線

お申し込み締切

2月14日(金)

熊本県高次脳機能障害検討委員会主催研修会

■申込書 (FAX096-355-6507)

施設名	住所	〒	TEL
氏名 (職種名)		(職種名))
		(職種名))
		(職種名))
		(職種名))
		(職種名))

欄が不足の場合、お手数ですがコピーして御利用ください。

問い合わせ先：熊本県医師会業務2課 TEL096-354-3838